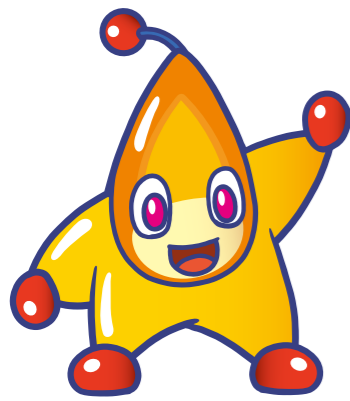


4 資源を大切にしよう!

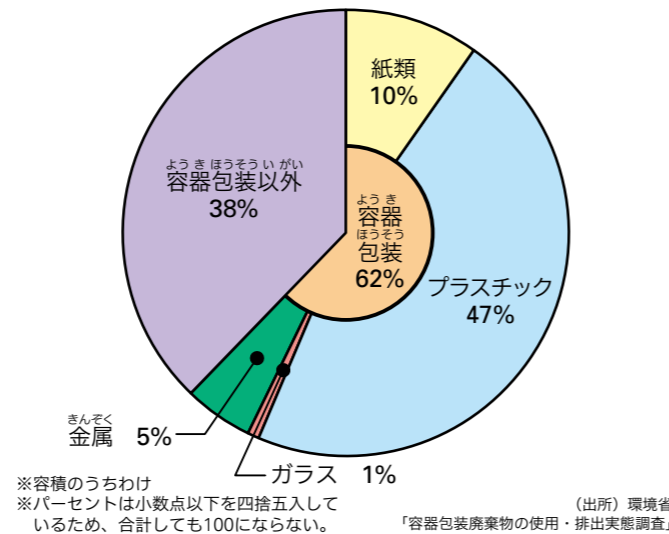


ごみを
ずてる前に
考えてみよう。

わたしたちのくらしから出されるごみの量はどのくらいだと思う? 1人1日あたり約1kgのごみを出しているんだ。

その家庭から出るごみの中で多いのは「容器包装」とよばれる食べ物のふくろやペットボトル、カン、ビン、洗剤のボトルなどだ。

◎家庭から出るごみのうちわけ(2018年度)



ストーリー5 未来のわたしたち、未来の地球

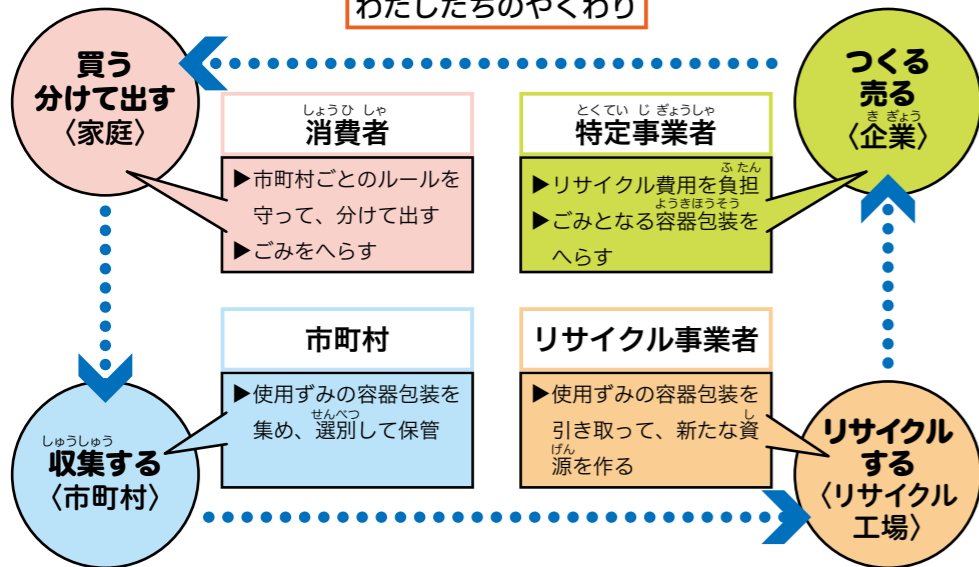
容器や包装も、作る時にはたくさんのエネルギー資源や鉄や銅などの鉱物資源をつかっていられるにもかかわらず、一度使っただけですてられてしまうこともある。

しかし、容器包装には、資源としてリサイクルできるものが多くふくまれている。ごみをなるべく出さないようにしたり、出すときはルールを守って分別しよう。

資源を大切にしよう!



わたしたちのやくわり



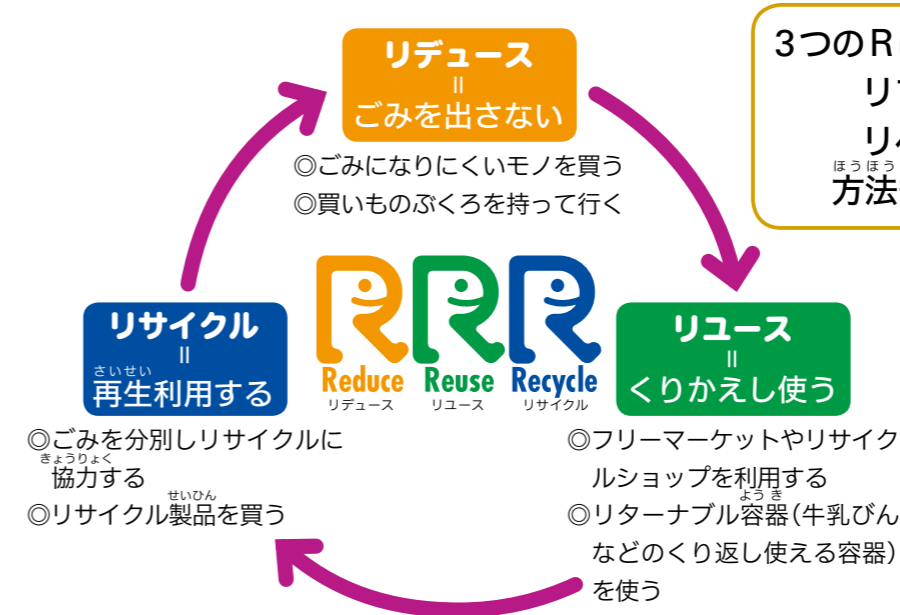
◎リサイクルマークの例



3つのRを実行しよう

「3つのR」とは「循環型社会」を作るためのキーワードだ。循環型社会とは、かぎりあるエネルギーや資源を使い果たしてしまわないために、ごみをできるかぎり出さないようにする

社会である。今、日本ではごみゼロ社会をめざして「3R活動」が進められている。みんなごみのない社会をめざそう。



※リフューズ
いらぬものは買わない、もらわないこと。
※リペア
こわれたら修理してくりかえし使うこと。



ストーリー5 未来のわたしたち、未来の地球

資源を大切にしよう!

リサイクルで資源とエネルギーを節約!

アルミ缶の原料となる鉱石(ボーキサイト)は、かぎりある天然資源である。資源を大切に利用するためリサイクルは大切だ。

リサイクルで回収されたアルミ缶からふたたびアルミニウムの地金をつくるエネルギーは、原料のボーキサイトから新しい地金をつくる時に比べ97%もエネルギーを節約することができる。



アルミ缶のリサイクルは...

- 資源を大切にできる
- エネルギーを節約できる
- ごみをへらせる



クイズ アルミ缶のリサイクル率はどのくらいかな?
①43% ②73% ③93%

ポイント

すててしまえばごみだけど、リサイクルすれば資源になる。

調べてみよう

アルミ缶以外の容器包装のリサイクルの方法を調べてみよう。